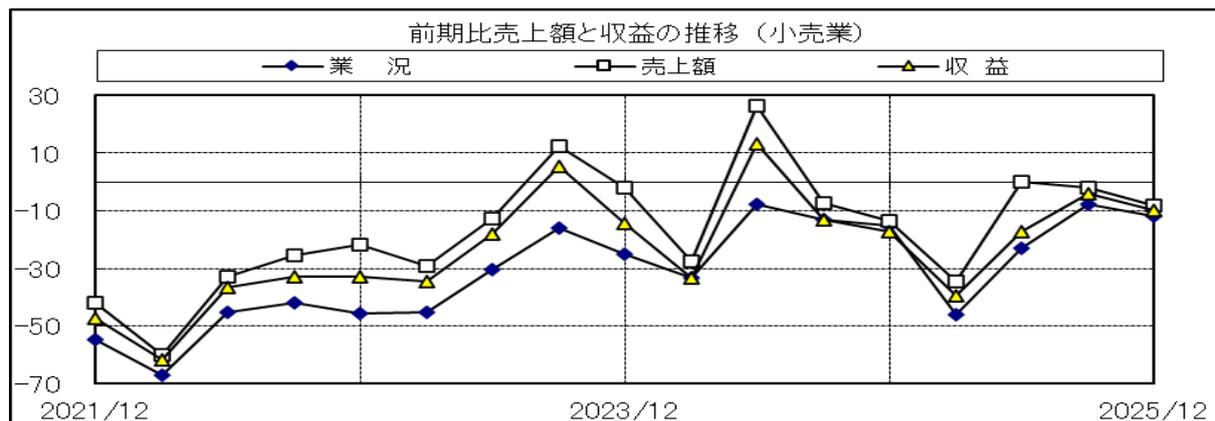


小売業 50企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-23.1	-7.8	-12.0	-34.0
売上額	0.0	-2.0	-8.0	-28.0
収益	-17.3	-3.9	-10.0	-28.0

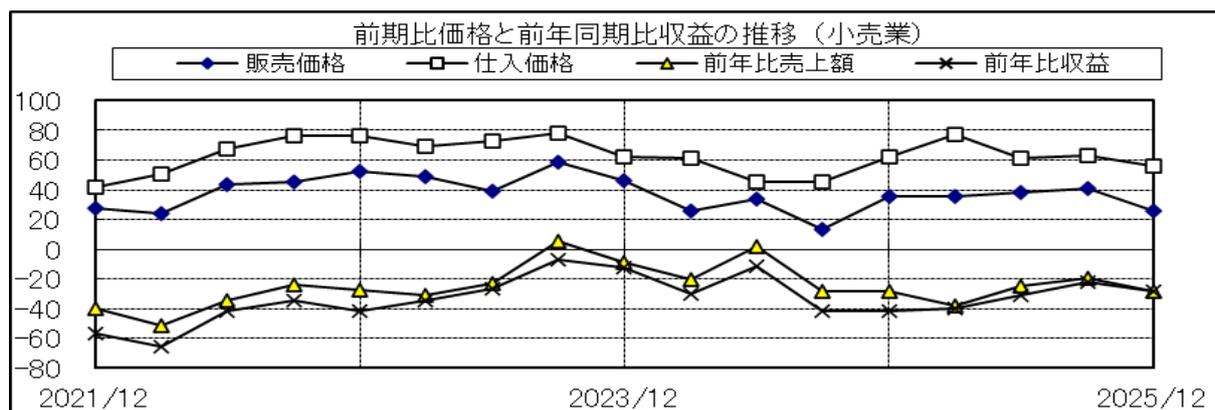
今期の業況判断 D.I. は△12.0 で、前期比 4.2 ポイント下降、前年(△15.1)比で 3.1 ポイント上昇した。地区別の D.I. は高い順に、静内が最も高く、次に、同率で三石・えりも、同率で類似・広尾と続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は△8.0 で、前期比 6.0 ポイント下降。収益判断 D.I. は△10.0 で、前期比 6.1 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	38.5	41.2	26.0	20.0
仕入価格	61.5	62.7	56.0	46.0

販売価格判断 D.I. は 26.0 で、前期比 15.2 ポイント下降、前年(35.8)比で 9.8 ポイント下降した。仕入価格判断 D.I. は 56.0 で前期比 6.7 ポイント下降、前年(62.2)比で 6.2 ポイント下降した。業種別では、衣料、食料、家電の販売価格、仕入価格はともに横ばいとなっている。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-3.8	-3.9	-6.0	-16.0
人手状況	-23.1	-19.6	-24.0	-20.0

残業時間判断 D.I. は△6.0 で、前期比 2.1 ポイント下降し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I. は△24.0 で、前期比 4.4 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

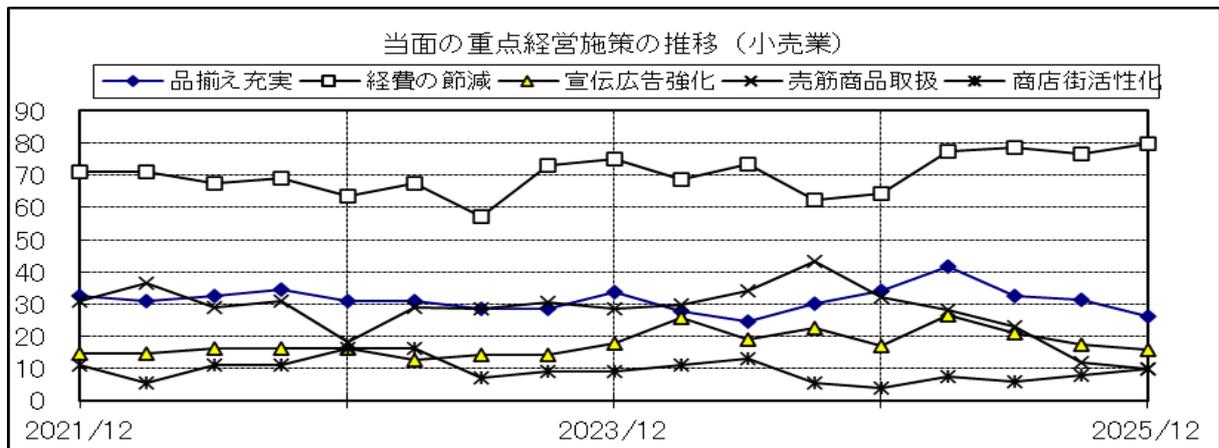
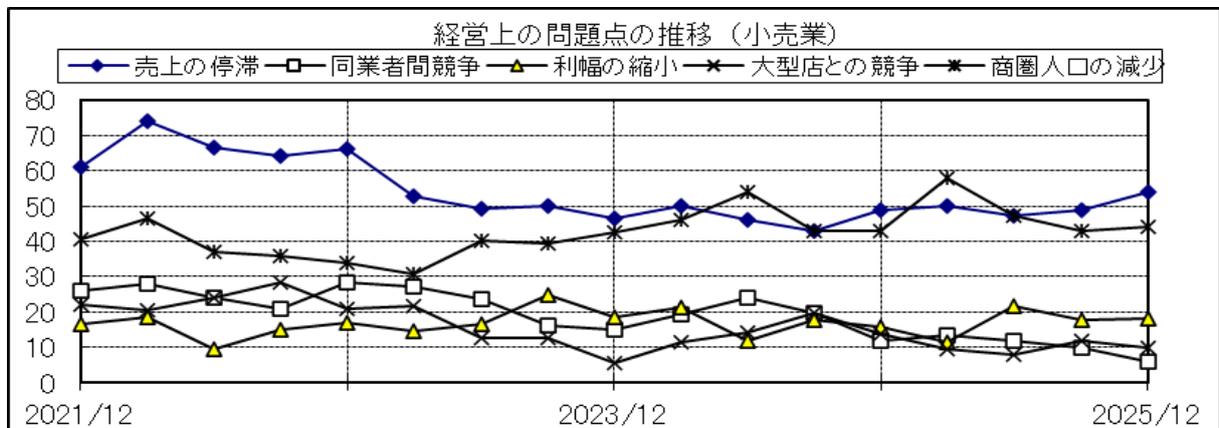
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△16.0で、前期(△9.8)比6.2ポイント下降した。
 設備実施企業割合は12.0で、前期(11.8)比0.2ポイント上昇した。設備投資は、前期6社
 に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が54.0%と最も多く、次に「商圈人口減少」44.0%、「利
 幅縮小」・「値上要請」が18.0%、「取引先減少」・「商店街集客力低下」が16.0%、「地場産業衰
 退」14.0%、「人件費増加」12.0%、「人手不足」・「大型店競合」が10.0%、「販売商品不足」
 8.0%、「同業者競合」・「諸経費増加」が6.0%、「輸入製品競合」・「取扱商品陳腐化」・「店舗狭
 隘老朽化」・「天候不順」が2.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が80.0%と最も多く、次に「品揃え改善」26.0%、「宣伝広告
 強化」16.0%、「仕入先開拓選別」14.0%、「売れ筋商品取扱い」・「商店街活性化」・「人材確保」
 が10.0%、「店舗設備改装」8.0%、「新事業開始」・「教育訓練強化」が6.0%、「機械化促進」が
 2.0%となっている。



□ 来期の見通し

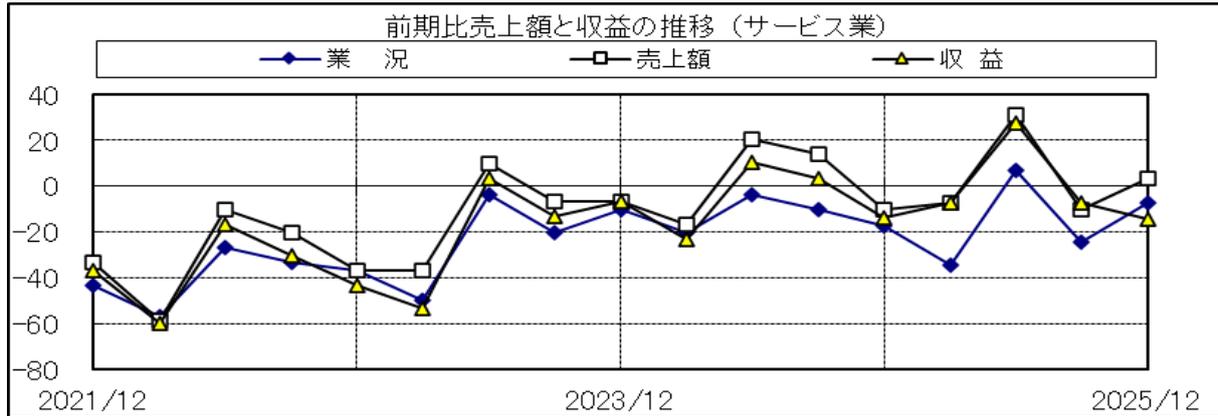
来期の予想業況判断D. I. は△34.0と、今期比22.0ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D. I. は△28.0と、今期比20.0ポイントの下降を見通している。
 予想収益判断D. I. は△28.0と、今期比18.0ポイントの下降を見通している。
 予想販売価格判断D. I. は20.0と、今期比6.0ポイントの下降を見通している。
 予想仕入価格判断D. I. は46.0と、今期比10.0ポイントの下降を見通している。

サービス業 28 企業（回答率 96.6%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	6.9	-24.1	-7.1	-14.3
売上額	31.0	-10.3	3.6	-10.7
収 益	27.6	-6.9	-14.3	-28.6

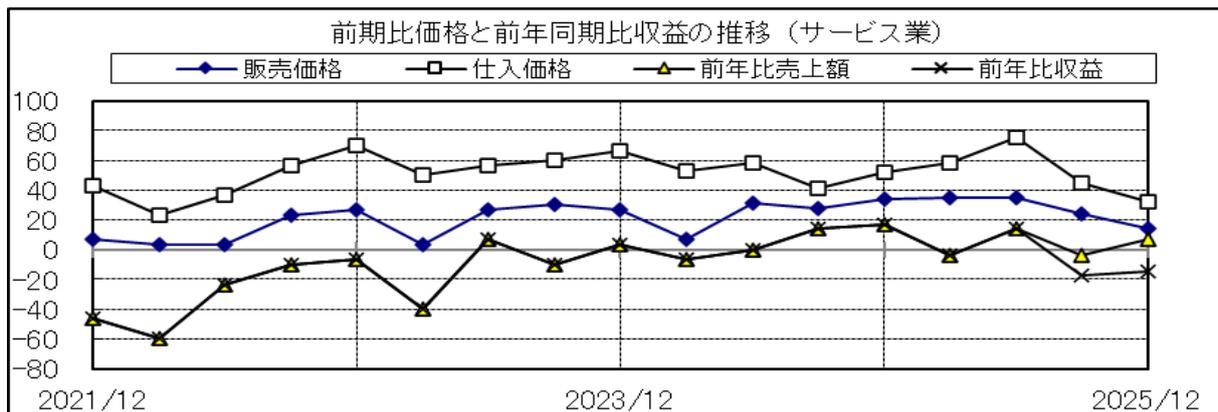
今期の業況判断 D. I. は△7.1 で、前期比 17.0 ポイント上昇、前年(△17.2)比で 10.1 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石・広尾が同率で最も高く、次に、同率で静内・えりも、浦河と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 3.6 で、前期比 13.9 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△14.3 で、前期比 7.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
料金価格	34.5	24.1	14.3	17.9
材料価格	79.3	44.8	32.1	25.0

料金価格判断 D. I. は 14.3 で、前期比 9.8 ポイント下降、前年(34.4)比で 20.1 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 32.1 で、前期比 12.7 ポイント下降、前年(51.7)比で 19.6 ポイント下降した。業種別の料金価格は、旅館業は下降、洗濯理美容業は横這、自動車整備業は上昇。材料価格は、すべての業種で下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	0.0	-6.9	0.0	-3.6
人手状況	-24.1	-27.6	-35.7	-28.6

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 6.9 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△35.7 で、前期比 8.1 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

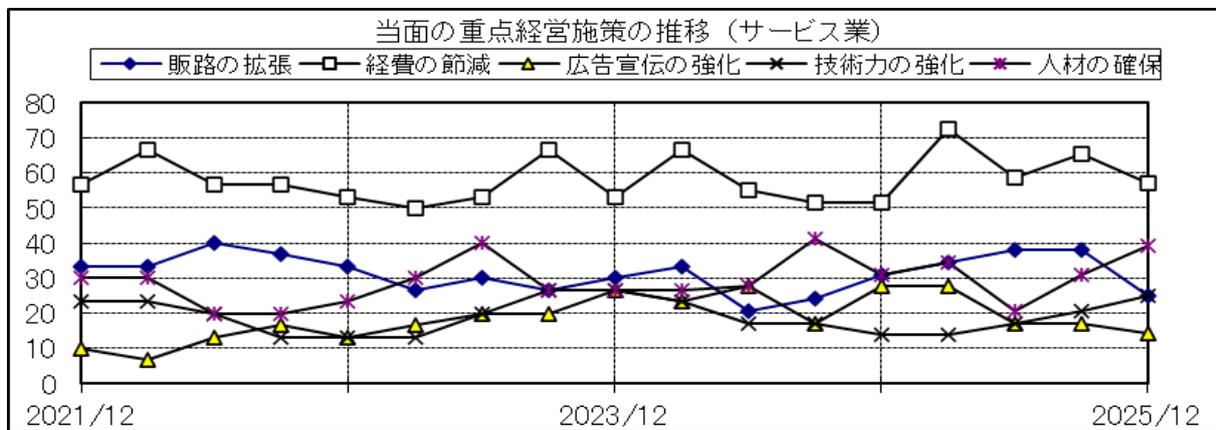
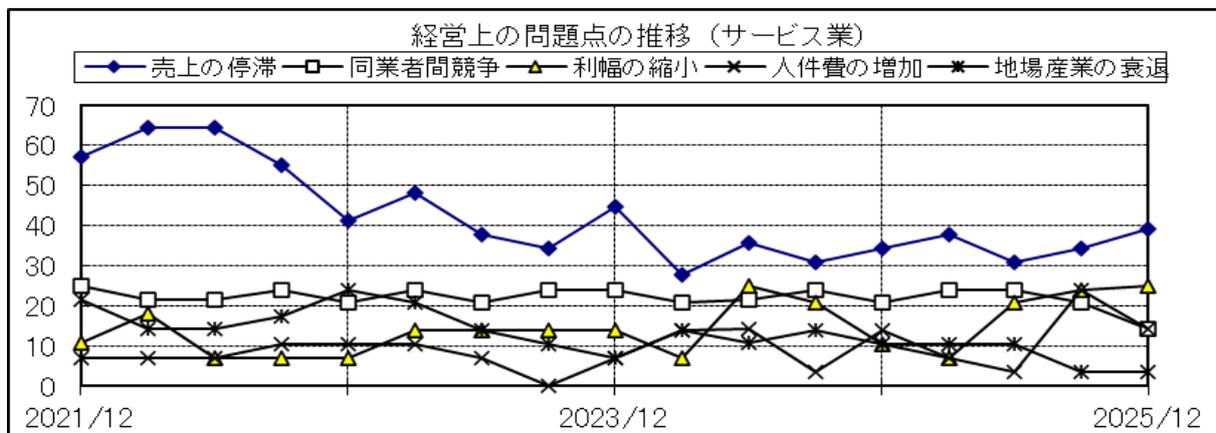
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△10.7で、前期比13.4ポイント上昇した。
 設備投資実施企業割合は17.9で、前期比2.8ポイント下降した。設備投資は、前期6社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「商圈人口減少」が39.3%と最も多く、次に「人手不足」・「材料価格上昇」が28.6%、「利幅縮小」25.0%、「同業者競合」・「人件費増加」「取引先減少」が14.3%、「合理化不足」・「値下げ要請」・「諸経費増加」・「技術力不足」・「駐車場確保難」・「店舗設備老朽化」・「地場産業衰退」が3.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が57.1%と最も多く、次に「人材確保」が39.3%、「販路拡大」・「技術力強化」が25.0%、「宣伝広告強化」・「店舗設備改善」が14.3%、「提携先確保」10.7%、「新事業開始」・「機械化促進」・「教育訓練強化」が7.1%、「パート化」・「労働条件改善」・「不動産有効活用」が3.6%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△14.3と、今期比7.2ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D. I. は△10.7と、今期比14.3ポイントの下降を見通している。
 予想収益判断D. I. は△28.6と、今期比14.3ポイントの下降を見通している。
 予想料金価格判断D. I. は17.9と、今期比3.6ポイントの上昇を見通している。
 予想材料価格判断D. I. は25.0と、今期比7.1ポイントの下降を見通している。